

株式会社 林商店

〒939-1505

南砺市長源寺77

TEL0763(22)2330

FAX0763(22)7678

社長の一言

自粛生活にも慣れてきたところで、緊急事態宣言が解除。いつもの4~5月であれば総会や会合が多いのですが今年は全くありませんでした。Webでの会議や懇親会が少しずつ定着しているようです。会議についてはおそろくこのやり方がとてもいいと思います。近間の会議であれば対面がベストですが、少し遠い方々との会議はWebでの会議がスタンダードになってくると思われます！皆さんも是非活用してみてください！

☆今月の癒しフォト



【お問い合わせ先】

フリーダイヤル

ゼロゴミ ナエコ

0120-053-785

コロナショック～長いトンネル～

となみ野の水田におたまじやくしが元気に泳ぐ季節となりました。新型コロナウイルス感染防止による緊急事態宣言が解除になり「自粛ムード」から通常の暮らしに少しずつ戻ってきている中、私たちの業界は更に大きな正念場を迎えそうです。

■古紙

全国各地で雑誌古紙の在庫が膨れ上がっており、古紙業界の大きな問題に発展しています。製紙メーカーに「雑誌古紙」を使用促進の要望書がでるくらいです。当社でも雑誌

がまず。富山県内の製紙メーカーはコロナによる減産&古紙在庫調整の為6月中旬から下旬に受け入れを停止。2021年から中国古紙輸入禁止となれば、今よりも更に事態が悪化する物と想定しています。リサイクルシステムを維持できるのか、大きな岐路に立たされています。

■鉄スクラップ

こちらも国内需要が冷え込んでいます。製鋼メーカーの相次ぐ減産により更なる相場下落が危惧されていましたが5月下旬より若干値を戻しています。相場が上がった！というより少し戻ったという感じです。輸出の引き合いが強く、そこに牽引されての相場上昇ですので、頭打ち

も早いのではとされています。

■非鉄スクラップ

銅についてはモノが少ない「ナイモノ高」傾向です。7月からは各メーカーが大幅に減産を打ち出しており、それにともない原料のスクラップ納入量も大幅にカット。7月からの中国の輸入再開の絡みもあり様子見です。

先月よりは少しだけ明るい話題が出てきました。頑張っていきます！



古着の仕入れを一時的にストップ!?

新型コロナウイルス感染拡大の影響は古着にも表れています。弊社では古着を上越港からマレーシアに輸出、また一部は「ウエス(雑巾)」に加工し販売をしています。

日本の中古衣類の輸出は26万トンに上り、輸出先で最も多いのはマレーシアの13万トンです。次いで韓国4.4万トン、フィリピン3.8万トンとなっています。新型コロナウイルスの影響で2月頃から輸出が停滞し、海外の港湾施設機能が停止したり、現地工場が操業を止めたりしたため、海外へ

の古着流通はほぼストップ状態となっています。

衣替えと外出自粛の影響で古着の発生量が急激に増え、日本全国中の業者の倉庫が山のようになっています。

自治体で古着を回収しているところは、一時的に回収を停止し、各家庭での保管を呼びかけているという危機的状況となっています。

弊社でも同様の状況となっており、6月より受入を停止、集団資源回収での受入は7月から受け入れを停止することにいたします。

今回このような事態になったことで、古着のリサイクル自体をみなおすきっかけになればと思っています。衣・食・住の「衣」の現状は皆様が思っている以上に酷いものです。来月号に詳しくお伝えしたいと思います。「持続可能な地域社会の実現」に向けて、我々人類は何ができるのか真剣に考えていきましょう！

